

令和3年度 大館市立第一中学校 学校評価書 (前期・年度)

A 学校教育目標

より深く考え 自己を磨き 未来をたくましく生きる生徒の育成

B 本年度の重点目標

自ら課題を見つけ、仲間と協働しながら、学び続ける生徒、大勢の中で、認め合い競い支え合って、仲間と心を繋ぐ生徒、高い志を抱き、仲間のため自分のために、困難にも挑む生徒の育成

C 学校経営の方針と具体的な取組

揺るぎ無い存在感の基盤となる、「共感」と「規律」を備えた集団づくり ～共に高め合学びの実現を通して～	
(1)「揺るぎ無い存在感」の創造へ、思いを一つにする職員集団 (Team Hearts)	<ul style="list-style-type: none"> ・「揺るぎ無い存在感」の土俵と決め手を見極めるランドマークプロジェクトの立ち上げ ・学年部、指導部の「指導のすき間」を埋める組織の再編 ・創造的運営意欲を掻き立てるミーティングの工夫 ・五大祭、鳳雛講座、学校評価の見直しと改善
(2)集団を鍛えて個を引き上げる創造的な企画と組織的な指導	<ul style="list-style-type: none"> ・教育目標実現のための4指導のアジャスト(調整) ・教育目標実現に向けた解決課題のクローズアップ ・「集団学び」を実現する学習指導 ・安心で安全な集団生活を実現する生徒指導 ・集団のよさを実感できる行事集会等の指導 ・「共に挑む」経験を実現する部活動指導
(3)地域で示し鍛える「揺るぎ無い存在感」の核	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のつながりに着目した鳳雛講座の展開(職業観から生き様環へ) ・生徒会と地域の「つながり」の模索 ・「誰もが認める存在感」の評価・改善のための仕組みづくり

令和3年度前期の主な行事・出来事

- 4月 6日 令和3年度スタート 新任式・始業式
- 4月 7日 174名の新入生を迎えて入学式
- 4月10日 PTAスタート 授業参観・PTA総会・学年・学級懇談
- 4月17日～18日 大北春季総体(柔道男女団体優勝、男女個人優勝8名、剣道女子団体優勝、卓球男子団体優勝、ソフトテニス女子団体優勝、男子個人優勝、バスケットボール男女優勝)
- 5月 8日 体育祭
- 5月12日 第218回鳳雛講座①「ダンス講師」菅原恵子さん
- 6月17日 大北総体激励会 第1回学校評議委員会
- 6月19日～20日 大北総体(柔道男女団体優勝、男女個人優勝9名、卓球男子団体優勝、男女個人優勝、バレーボール男子優勝、ソフトテニス女子団体優勝、女子個人優勝、陸上競技男子共通800m優勝、水泳競技男子総合優勝、男女5種目優勝)
- 7月 7日 第219回鳳雛講座②「カメラマン・フォトディレクター」近藤大介さん
- 7月11日 全日本吹奏楽コンクール秋田県大会東北地区大会 大編成の部 金賞
- 7月10日～11日 全県総体(水泳2種目東北大会出場、柔道男女団体ベスト8、女子個人第3位、ソフトテニス女子団体優勝、女子個人優勝、陸上競技東北大会出場2名、卓球男子団体第3位)
- 7月17日～18日
- 7月14日 第220回鳳雛講座③「ANA キャビンアテンダント」田鍋菜さん、松尾樹さん
小中合同あいさつ運動①
- 7月22日 生徒会企画夏休みボランティア 大館神明社除草作業
- 7月30日 全日本吹奏楽コンクール秋田県大会 大編成の部 金賞(東北大会出場)
- 8月7日～9日 東北総体(ソフトテニス女子団体準優勝(全国大会出場)、女子個人第5位)
- 8月17日～19日 全国大会(女子ソフトテニス第5位、水泳、陸上競技出場) 8月22日 大北駅伝大会(男子優勝 女子5位)
- 8月25日 2学期始業式
- 9月 8日 第221回鳳雛講座④
- 9月 9日 大北秋季総体激励会
- 9月 4日、12日、18日～19日 大北秋季総体



全国大会出場を決めた女子ソフトテニス部



生徒会企画「夏休みボランティア」
大館神明社除草作業



地域の人材を活用した
鳳雛講座

令和3年度 学校評価一覧

【教職員自己評価】

学校名(大館市立第一中学校)

大館市教育の目的	「共感的協働力」を備えた「未来大館市民」の育成
学校の教育目標	より深く考え 自己を磨き 未来をたくましく生きる生徒の育成
学校の重点目標	揺ぎ無い存在感の基盤となる、「共感」と「規律」を備えた集団づくり

評価項目	自己評価 A	学校関係者 評価	評価指標	主たる 担当	実践課題		自己評価 B
					実践課題	主な取組	
I 組織的 学校運営と 展開	おおむね 良好	良好	1 職員組織の活性化	教頭 連携 担当	(1) 協働戦略、意識統一の仕組みづくり(TeamHearts)	経営戦略会議の運営、組織力とやる気を高める仕掛け	4
			2 先を見通した危機管理		(2) 危機予測と職員管理・施設管理・会計管理	組織的危機管理の仕組みづくり(「危機回避のための行動指針」の策定等)	4
			3 開かれた学校づくり		(3) 外部との連携と発信、地域貢献	地域づくり、地域貢献に視点を当てた鳳雛講座 子どもハローワークを活用した地域貢献活動の活性化 地域に目を向けた生徒会の活動支援 学校報や学年通信等による発信	3
II 指導調整 と経営課 題の焦点 化	良好	良好	4 教育課程の編成と管理	教務部	(4) 日課や年間指導計画の創意工夫と提案	学校行事及び指導部事業の効果を高める教育計画の策定と管理	4
			5 指導調整と諸会議の運営		(5) 指導部事業及び五大祭の調整、会議の工夫	職員会議や主任会等、分掌の隙間を埋める仕掛けと工夫	4
			6 課題の焦点化と研究	研究部	(6) 共通実践による仮説検証、研究会の活性化	学校課題の設定と解決のための道筋の提示、授業研究会の活性化	4
			7 諸検査の分析と活用		(7) 検査結果と課題等周知の仕組みづくり	諸検査結果の校内周知と課題の明確化	3
III 健全な 生活習慣	おおむね 良好	おおむね 良好	8 校内生活規律の徹底	生徒 指導部 (部 活担 当)	(8) あいさつ、身だしなみ等校内生活全般	「一中学生の一日」等生活指導資料の活用と主体的実践意欲の喚起	4
			9 校外生活安全の保守		(9) あいさつ、交通安全等校外生活全般	校外生活の実態把握(理解)と安全・安心実現のための取組	3
			10 望ましい生活習慣		(10) 保健・清掃、食事、メディア等の指導	心に響く指導資料の策定及び保護者への働きかけの工夫	3
IV 思いやり の心・たく ましい心	おおむね 良好	良好	11 学年・学級経営	学年主 任統括	(11) 「共感と規律」へのアプローチの工夫	仲間を大切に、困難に打ち勝つ空気醸成(学校行事等の活用)	4
			12 適応指導	生徒支 援担当	(12) 教育相談と生徒理解及び一人一人に応じた指導	教育相談の充実及び生徒及び保護者に寄り添った、学校不応等諸課題への対応	3
			13 部活動運営	部活 担当	(13) 一中部活動の方針策定と実践	部活動運営方針の徹底と心の育成	3
V 基礎学力 と学習習 慣	おおむね 良好	おおむね 良好	14 学習規律・習慣の確立	学 習 指 導 部	(14) 主体的学習態度の育成	全教科で取り組む集団(学級、グループ、ペア)での学び方の定着	3
			15 学習環境の整備		(15) 教室環境、学習用具、教育教材等	新しい学びを生み出す学習環境の構成及び管理	3
VI 自治的 集団活動	おおむね 良好	おおむね 良好	16 学校行事等集団活動	特 活 指 導 部	(16) 皆(生徒、保護者、教職員)の心が動く学校行事	学校行事の目的意識及び取りませ方の工夫と振り返りの充実	4
			17 生徒会活動と学校経営		(17) 共感と規律を意識させる全校集会	集団活動における「規律」と「共感的反応」の良さを、実感できる集会活動	4
			18 「一中学生の強み」を進化させる活動の工夫		(18) 「一中学生の強み」を進化させる活動の工夫	主体的自治的生徒会活動の仕掛けと実践	3

D 評価

ア
学校運営
の状況

自己評価Aと外部評価の評価区分	きわめて良好	自己評価Bの評価基準	5	実現状況は極めてよく意識も高い／数値目標に対し100%以上達成
	良好		4	実現状況は良好で意欲もある／数値目標に対し80~99%達成
	おおむね良好		3	実現状況はおおむね良好／数値目標に対し60~79%達成
	やや不十分		2	実現状況はやや不十分で取組が不安定／数値目標に対し40~59%達成
	努力を要する		1	実現状況は不十分で努力を要する／数値目標に対し39%以下の達成

I 組織的學校運営と展開

学校運営の状況	自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
教職員が重点目標を意識し、チームとして、主体的、組織的に取り組んでいる。	前期 おおむね 良好	良好	地域貢献についての取組はもう一歩という段階ではあるが、学校経営方針を職員が理解し、その実現に向けて職員間で連携・協力して取り組んでいる。職員が取り組みやすいように管理職がフォローしている。また、職員間で情報共有がしっかりと行われている。
年度			
学校自己評価の改善の概要と	【前期(一年度)】学校経営方針を職員全員が理解し、その実現に向けてそれぞれの分掌が取組を提案し、実践することができている。前期の取組を振り返り、課題を明確にして改善を加えた上で後期の取組を実行していくことを心がけた。職員の危機管理に対する共通認識が進み、迅速にチームで対応することができている。「いつ、誰が、どのような体制で対応するのか」をマニュアル化するなど、職員組織の仕組みを確立させることを後期は取り組んでいく。生徒会活動の支援、地域貢献活動の活性化等にも引き続き取り組んでいかなければならない。 【年度(一次年度)】		

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
1 職員組織の活性化	(1)協働戦略、意識統一の仕組みづくり(Team Hearts)	経営戦略会議の運営、組織力とやる気高める仕掛け	4	
2 活力ある集団生活	(2)危機予測と職員管理・施設管理・会計管理	組織的危機管理の仕組みづくり(「危機回避のための行動指針」の策定等)	4	
3 開かれた学校づくり	(3)外部との連携と発信、地域貢献	地域づくり、地域貢献に視点を当てた風船講座 子どもハローワークを活用した地域貢献活動の活性化 地域に目を向けた生徒会の活動支援 学校報や学年通信等による発信	3	

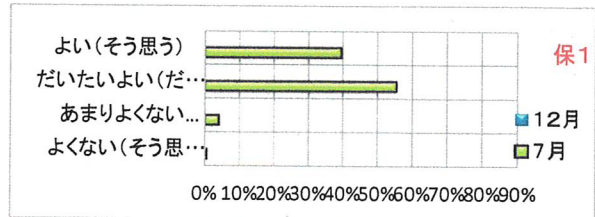
1(1)

職1 職員組織の活性化 平均4.1

1(2)

保1 学校は、生徒の安心・安全の確保について適切に対応していると思いますか。(危険予知能力や危険回避能力の育成、交通事故防止、非行防止、SNS利用マナー指導、不審者対応等)

	12月	7月
よい(そう思う)	###	40%
だいたいよい(だいたいそう思う)	###	55%
あまりよくない(あまりそう思わない)	###	4%
よくない(そう思わない)	###	1%

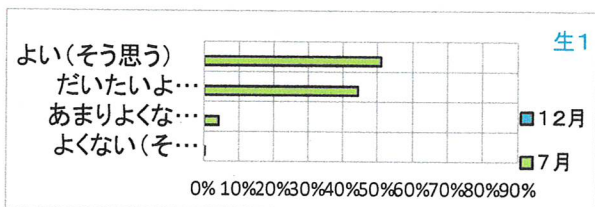


職2 先を見通した危機管理 平均4.2

1(3)

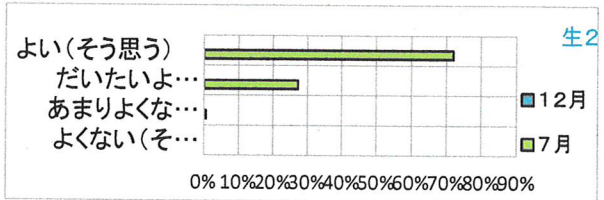
生1 あなたは、ふるさと大館を愛し、地域に貢献したいと思いますか。

	12月	7月
よい(そう思う)	###	51%
だいたいよい(だいたいそう思う)	###	44%
あまりよくない(あまりそう思わない)	###	4%
よくない(そう思わない)	###	0%



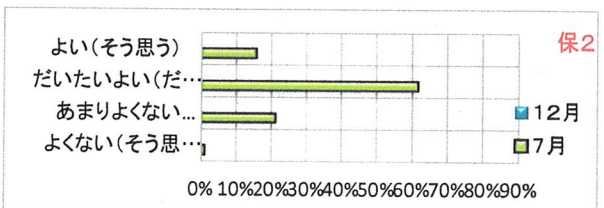
生2 あなたにとって、風船講座や図南タイムの学習(修学旅行、職場体験学習、企業見学等)での学びは、自分の生き方について考えるよい機会となりましたか。

	12月	7月
よい(そう思う)	###	72%
だいたいよい(だいたいそう思う)	###	27%
あまりよくない(あまりそう思わない)	###	1%
よくない(そう思わない)	###	0%



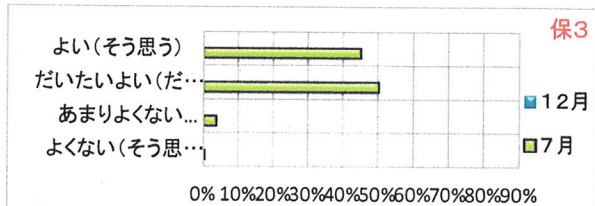
保2 あなたのお子さんは、ふるさと大館を愛し、地域に貢献しようとする意識が高まっていますか。

	12月	7月
よい(そう思う)	###	16%
だいたいよい(だいたいそう思う)	###	62%
あまりよくない(あまりそう思わない)	###	21%
よくない(そう思わない)	###	1%



保3 学校は、郷土愛を醸成し、地域に貢献しようとする生徒の意識を向上させるための取組を工夫していると思いますか。(風船講座、職場体験学習、企業訪問学習、修学旅行等)

	12月	7月
よい(そう思う)	###	45%
だいたいよい(だいたいそう思う)	###	50%
あまりよくない(あまりそう思わない)	###	4%
よくない(そう思わない)	###	0%



職3 開かれた学校づくり 平均3.9

ア 学校運営の状況

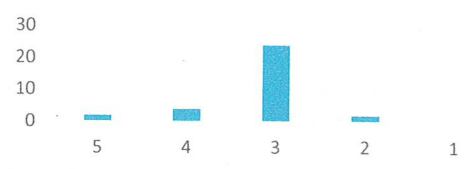
II 指導調整と経営課題の焦点化

学校の状況	自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
指導部や学年部等分掌を超えて取組を理解し、課題の解決に向けて共通実践に取り組んでいる。	良好	良好	人事異動によって各主任等が代わっても、それぞれの分掌において昨年度の反省等を踏まえた計画と実施ができています。授業のねらいが明確で子どもたちも意欲的である。課題と捉えている「学び合い」については、今後に期待するところである。
と 自 学 己 校 評 の 価 改 の 善 概 策 要	【前期(→年度)】 前年度の反省を踏まえて教育課程の編成や学校行事の計画を行い、実践してきている。職員会議の効率化を図るとともに、学年部の中に各指導部の取組を中心になって推進する職員を配置して、指導部の取組が末端まで浸透するようにしてきている。研究主題に沿って各教科の共通実践事項を設定し、授業改善に取り組んでいる。授業研究会においては全職員が活発に発言し、教科の枠を超えた充実した協議を行うことができています。「生徒が関わり合いながら学ぶ場の設定」や「指導の工夫」が今後の課題であるが、研究計画に基づいたPDCAサイクルを生かしてさらなる授業改善を進めていきたい。 【年度(→次年度)】		

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
4 教育課程の編成と管理	(4)日課や年間指導計画の創意工夫と提案	学校行事及び指導部事業の効果を高める教育計画の策定と管理	4	
5 指導調整と諸会議の運営	(5)指導部事業及び五大祭の調整、会議の工夫	職員会議や主任会等、分掌の隙間を埋める仕掛けと工夫	4	
6 課題の焦点化と研究	(6)共通実践による仮説検証、研究会の活性化	学校課題の設定と解決のための道筋の提示、授業研究会の活性化	4	
7 諸検査の分析と活用	(7)検査結果と課題等周知の仕組みづくり	諸検査結果の校内周知と課題の明確化	3	

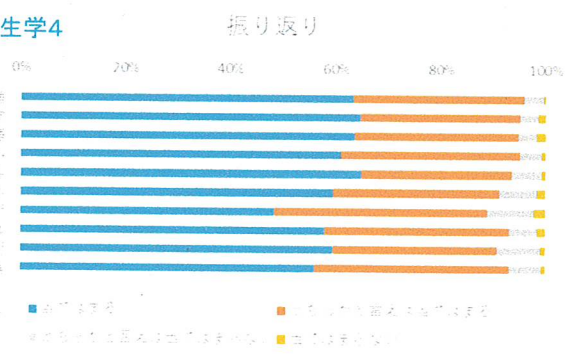
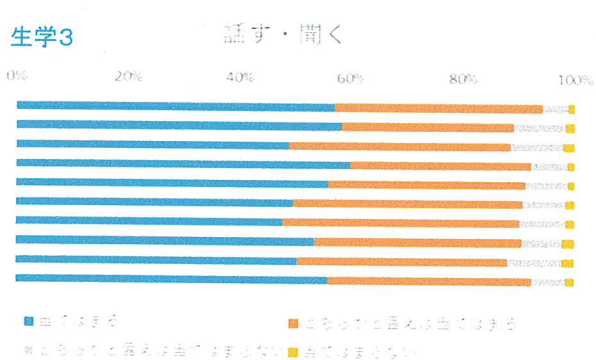
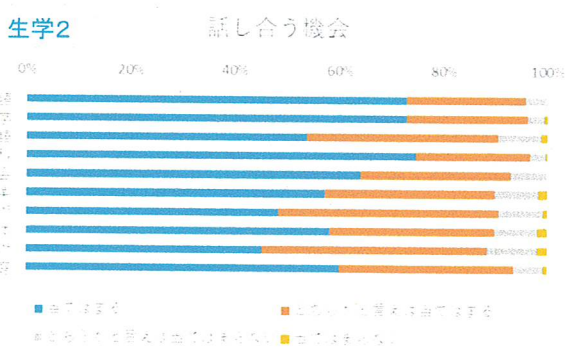
- 4(4) 職4 教育課程の編成と管理 平均3.9
- 5(5) 職5 指導調整と諸会議の運営 平均3.7
- 6(6) 職6 課題の焦点化と研究 平均3.9
- 7(7) 職7 諸検査の分析と課題等の周知 平均3.5

職員アンケート5 度数分布



職員アンケート結果で全体的には評価4(良い)になっているが、度数分布を見ると左のように評価3(だいたい良い)が多く、後期に改善すべき課題があるととらえていることが分かる。

生学2 授業では、学級やグループの中で課題の解決に向けて話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組む機会がありましたか。
 生学3 授業で、話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、自分の考えをしっかりと伝えましたか。
 生学4 授業の最後に、学習活動を振り返り、わかったことや考えたことをまとめたり、伝え合ったりしましたか。



生徒学習アンケートの結果を見ると、「話し合う機会の設定」「自分の考えを伝えることや話を最後まで聞くこと」「学習を振り返り、分かったことや考えたことをまとめたり、伝え合ったりすること」の研究の重点に係る項目で、各教科とも肯定的な評価が多く、学校全体として授業における共通実践事項がそれぞれ実践され、浸透してきていると考えられる。
 職員研究アンケートからは、「学びが深まるように発問・指示・支援」「生徒主体の授業づくり」「結晶タイム(生徒の追究場面)の充実」等が課題であることが分かった。生徒の深い学びの実現に向け、日々の授業実践での積み重ねを大切にしていきたい。

イ 生徒の状況

自己評価Aと外部評価の区分	きわめて良好	自己評価Bの評価基準	5	目指す方向が共通理解され取組も組織的で意識が高く成果も顕著
	良好		4	目指す方向が共通理解され取組も組織的で成果が多く見られる
評価区分	おおむね良好	自己評価Bの区分	3	目指す方向が明確で一定の取組が行われており成果も見られる
	やや不十分		2	目指す方向がやや不明確で取組もばらつきがあり成果が安定しない
	努力を要する		1	目指す方向が不明確で取組体制や取組方に解決すべき課題が多い

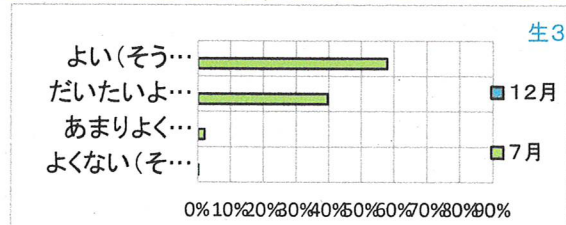
Ⅲ 健全な生活習慣

生徒の状況	自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
集団の規律の大切さを理解し、よりよい集団生活に寄与しようとする意欲をもって生活している。	前期	おおむね良好	あいさつは、今後も継続して指導し、地域にも広めていってほしい。学校生活で、ルールやマナーをしっかりと守って生活している生徒が多く、良い傾向である。安全マップを作成し、有効に活用していってほしい。
	年度	おおむね良好	
善要自【前期(一年度)】校内における挨拶はよくできているが、校外や来校者に対する挨拶が課題であるため、「いつでも・どこでも・誰にでも・何度でも」を意識できるような策と己指導を工夫していく。前期は、自転車の乗り方や交通ルールの遵守ができていない場面も見られたため、後期は「一中安全マップ」を作成し、交通安全指導の徹底を図りたい。規則正しい生活やSNS利用のルール等についても生徒の意識が向上するよう継続して指導していきたい。			
学評校の改			【年度(→次年度)】

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
8 校内生活規律の徹底	(8)あいさつ、身だしなみ等校内生活全般	「一中学生の一日」等生活指導資料の活用と主体的実践意欲の喚起	4	
9 校外生活安全の保守	(9)あいさつ、交通安全等校外生活全般	校外生活の実態把握(理解)と安全・安心実現のための取組	3	
10 望ましい生活習慣	(10)保健・清掃、食事、メディア等の指導	心に響く指導資料の策定及び保護者への働きかけの工夫	3	

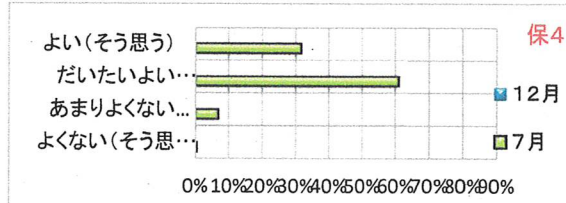
8(8) 生3 あなたは、学校生活において、ルールやマナーを守って生活していますか。

	12月	7月
よい(そう思う)	####	58%
だいたいよい(だいたいそう思う)	####	40%
あまりよくない(あまりそう思わない)	####	2%
よくない(そう思わない)	####	0%



保4 学校は、集団生活におけるルールやマナーを守ることができる生徒を

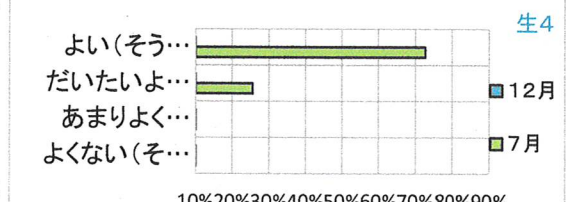
	12月	7月
よい(そう思う)	####	32%
だいたいよい(だいたいそう思う)	####	61%
あまりよくない(あまりそう思わない)	####	7%
よくない(そう思わない)	####	0%



職8 校内生活規律の徹底 平均3.4

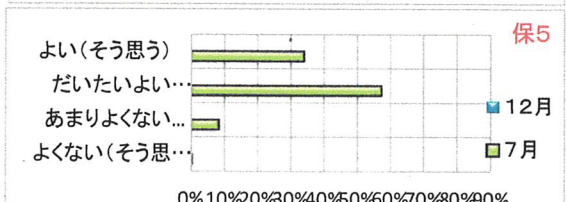
9(9) 生4 あなたは、校外において、安心・安全な生活を心がけることができますか。(交通事故防止、SNSの利用の仕方等)

	12月	7月
よい(そう思う)	####	73%
だいたいよい(だいたいそう思う)	####	26%
あまりよくない(あまりそう思わない)	####	2%
よくない(そう思わない)	####	0%



保5 あなたのおさんは、校外において、安心・安全な生活を送ることができますか。(交通事故防止、SNSの利用の仕方等)

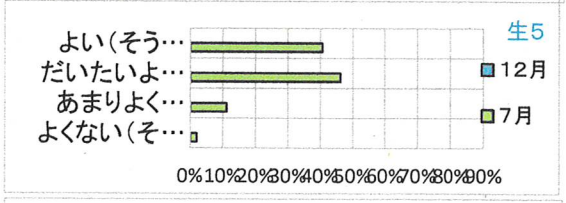
	12月	7月
よい(そう思う)	####	34%
だいたいよい(だいたいそう思う)	####	57%
あまりよくない(あまりそう思わない)	####	8%
よくない(そう思わない)	####	0%



職9 校外生活安全の保守 平均3.5

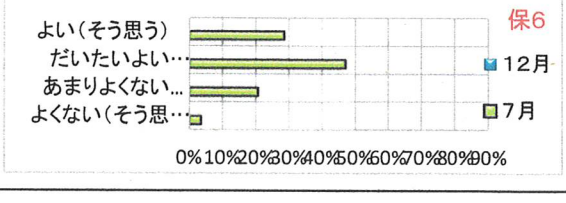
10(10) 生5 あなたは、心と体を健康に保つために、規則正しい生活を心がけることができますか。(早寝、早起き、朝ご飯等)

	12月	7月
よい(そう思う)	####	41%
だいたいよい(だいたいそう思う)	####	46%
あまりよくない(あまりそう思わない)	####	11%
よくない(そう思わない)	####	2%



保6 あなたのおさんは、心と体を健康に保つために、規則正しい生活を送ることができますか。(早寝、早起き、朝ご飯等)

	12月	7月
よい(そう思う)	####	29%
だいたいよい(だいたいそう思う)	####	47%
あまりよくない(あまりそう思わない)	####	21%
よくない(そう思わない)	####	4%



職10 望ましい生活習慣 平均3.4

イ 生徒の状況

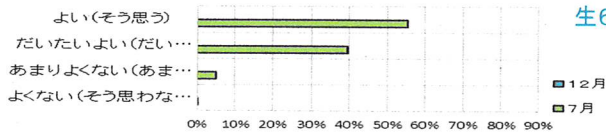
IV 思いやりの心・たくましい心

生徒の状況	自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
集団で一つの目標に向かって切磋琢磨する体験を通して、自己と他者を大切にしたいという思いをもって生活している。	前期 おおむね 良好	良好	部活動は大変よく頑張っている。部員に対する配慮や一人一人に合わせた助言が素晴らしい。ヒヤリングでは「部活動が楽しい」という声が聴かれ、生徒たち自身が意欲的に取り組んでいることが感じられた。地域との連携を深めてほしい。
善要自 策と己 学評 校価 のの 改概	【前期(一年度)】「規律」のある集団の中で仲間と共に高め合いながら学校生活や学教行事に取り組む生徒の姿が見られ、「規律」と「共感」が生徒の中にも浸透してきている。生徒の見取りや教育相談を充実させることで、生徒や保護者の思い・願いに寄り添った指導を心がけている。外部機関との連携を密にしなが、課題を抱えている生徒の対応に引き続き取り組んでいく。部活動運営方針を徹底すると共に、部活動を通して生徒の心も育てるという意識を高めて指導に当たってほしい。		
	【年度(一次年度)】		

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
11 学年・学級経営	(11)「共感と規律」へのアプローチの工夫	仲間を大切にし、困難に打ち勝つ空気醸成(学校行事等の活用)	4	
12 適応指導	(12)教育相談と生徒理解及び一人一人に応じた指導	教育相談の充実及び生徒及び保護者に寄り添った、学校不適応等諸課題への対応	3	
13 部活動運営	(13)一中部活動の方針策定と実践	部活動運営方針の徹底と心の育成	3	

11(11)

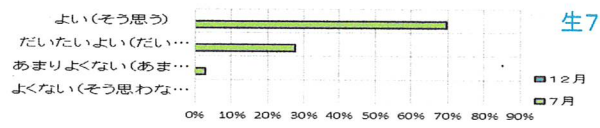
生6 あなたは、学年や学級の目標の実現に向けて、仲間とともに高め合いながら毎日の学校生活を送ることができていますか。



保7 あなたのお子さんは、学年や学級の目標の実現のために、仲間と共に高め合いながら、毎日の学校生活を前向きに送っていると思いますか。

	12月	7月
よい(そう思う)	###	34%
だいたいよい(だいたいそう思う)	###	57%
あまりよくない(あまりそう思わない)	###	9%
よくない(そう思わない)	###	0%

生7 あなたは、学校生活において、友達を大切にし、共に高め合いながらいろいろな学習や学校行事等に前向きに取り組んでいますか。

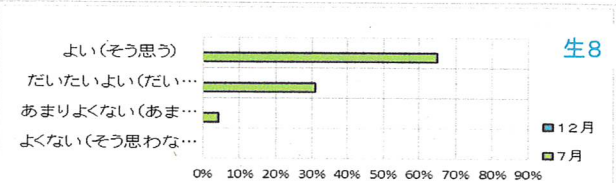
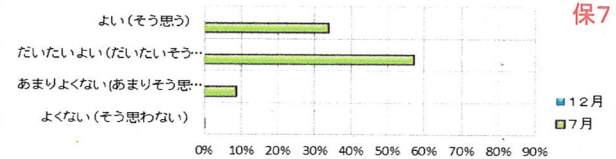


職11 学年・学級経営 平均3.8

12(12)

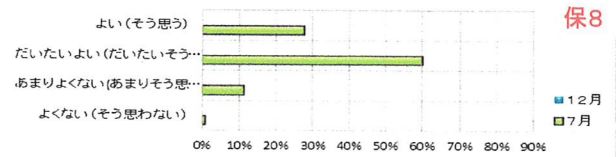
生8 先生方は、あなたの気持ちを理解し、誠実に対応していると思いますか。

	12月	7月
よい(そう思う)	###	65%
だいたいよい(だいたいそう思う)	###	31%
あまりよくない(あまりそう思わない)	###	4%
よくない(そう思わない)	###	0%



保8 学校は、生徒や保護者の思いや願いに寄り添った対応をしていると思いますか。(教育相談の実施、SCとの連携、関係機関との連絡・調整、生徒・保護者への対応等)

	12月	7月
よい(そう思う)	###	28%
だいたいよい(だいたいそう思う)	###	60%
あまりよくない(あまりそう思わない)	###	11%
よくない(そう思わない)	###	1%

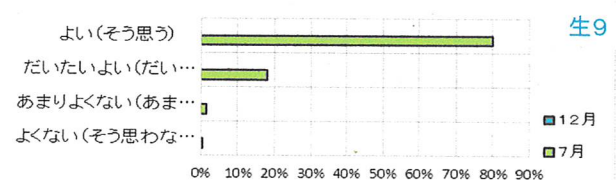


13(13)

職12 適応指導 平均3.6

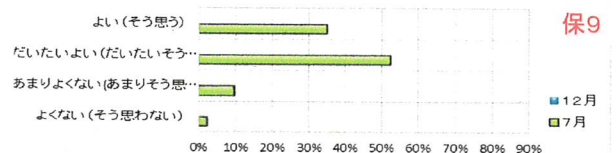
生9 先生方は、部活動において熱心に指導していると思いますか。

	12月	7月
よい(そう思う)	###	80%
だいたいよい(だいたいそう思う)	###	18%
あまりよくない(あまりそう思わない)	###	2%
よくない(そう思わない)	###	0%



保9 学校は、保護者に対して部活動運営方針を提示するとともに、部活動を通して技術・技能、心の育成に努めていると思いますか。

	12月	7月
よい(そう思う)	###	35%
だいたいよい(だいたいそう思う)	###	53%
あまりよくない(あまりそう思わない)	###	10%
よくない(そう思わない)	###	3%



職13 部活動運営 平均3.7

イ
生徒の
状況

V 基礎学力と学習習慣

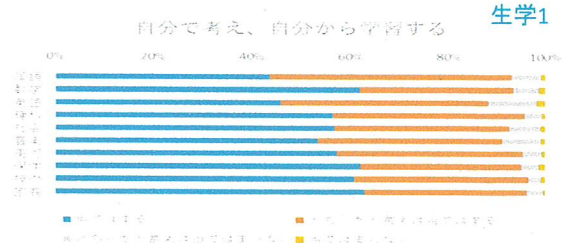
学校運営の状況	自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
集団で学ぶ力を高めることで、主体的、対話的で深い学びを実現しようとしている。	前期 おおむね 良好	おおむね 良好	生徒が理解しやすい授業づくりに努めていること、生徒の主体的態度の育成に積極的に取り組んでいることが、授業参観やヒヤリングを通して感じられた。今後は、タブレットPCの活用をより充実させていってほしい。
と自己 校評の 価 改の 善概 策要	<p>【前期(一年度)】主体的に学習に向かう意欲や姿勢が生徒の姿としてあらわれてきている。後期は、考えをもつ一部の生徒の学び合いではなく、一人残らず学んでいる状況を作り出すための「グループ学習(集団学び)の型」を生徒に習得させ、活用していく教師のプロデュース力・授業力の向上を図っていく。教材や教具の工夫、教育機器の効果的な活用を意識した授業を心がけているが、タブレットパソコンの活用については十分とは言えない。生徒の学びを充実させるためにタブレットパソコンの活用方法等の研修を積み、実際に授業で活用することで効果的な指導を模索していきたい。</p> <p>【年度(→次年度)】</p>		

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
14 学習規律・習慣の確立	(14)主体的学習態度の育成	全教科で取り組む集団(学級、グループ、ペア)での学び方の定着	3	
15 学習環境の整備	(15)教室環境、学習用具、教育機材等	新しい学びを生み出す学習環境の構成及び管理	3	

14(14)

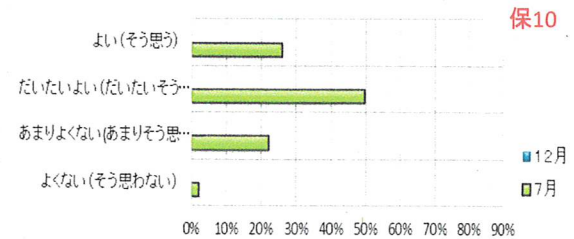
生学1 授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組みましたか。

生徒学習アンケートの結果から、各教科とも、「当てはまる・どちらかといえば当てはまる」という肯定的な回答が90%を超えていることから、主体的に学習に取り組む姿勢が身に付いてきているととられている。学びの質をさらに向上させるための教師のプロデュース力を高めていくことを後期の課題として実践を積み重ねていきたい。



保10 あなたのお子さんは、学校での授業に目標をもって前向きに取り組んでいると思いますか。

	12月	7月
よい(そう思う)	###	26%
だいたいよい(だいたいそう思う)	###	50%
あまりよくない(あまりそう思わない)	###	22%
よくない(そう思わない)	###	2%

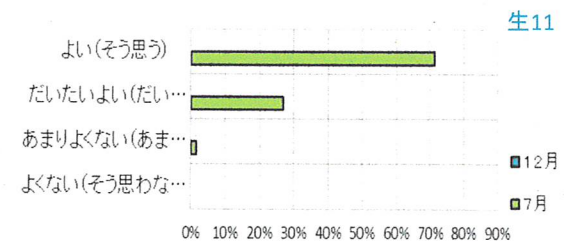


職14 学習規律・習慣の確立 平均3.6

15(15)

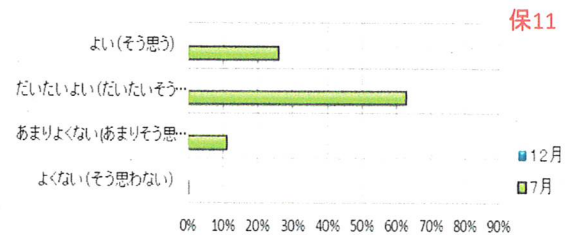
生11 先生方は、授業においてICTを活用したり、教具やシート等を工夫したりして、生徒が理解しやすいように心がけていますか。

	12月	7月
よい(そう思う)	###	71%
だいたいよい(だいたいそう思う)	###	27%
あまりよくない(あまりそう思わない)	###	2%
よくない(そう思わない)	###	0%



保11 学校は、生徒の学力向上のために、日々の授業において指導方法や内容を工夫していると思いますか。

	12月	7月
よい(そう思う)	###	26%
だいたいよい(だいたいそう思う)	###	63%
あまりよくない(あまりそう思わない)	###	11%
よくない(そう思わない)	###	0%



職15 学習環境の整備 平均3.3

イ 生徒の状況

VI 自治的集団活動

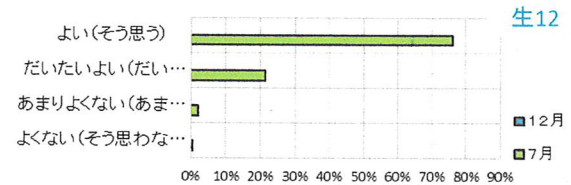
学校運営の状況	自己評価A	学校関係者評価	学校関係者評価委員のコメント
集団で生活する喜びを実感し、皆とともによりよい生活を実現しようとする主体性を育てている。	前期 おおむね良好	おおむね良好	大館神明社の除草ボランティアなど、生徒会活動で自主的な取組が見られる。後期にも期待したい。体育祭等の学校行事での団結力は素晴らしい。一中生は、生徒数が多いことをメリットとして捉えている。
と自己評価の改善概要	【前期(→年度)】体育祭などの学校行事では、学年・学級の団結力を発揮しながら目標の達成に向けて一生懸命に取り組む生徒の姿が見られ、生徒の成長も感じられる。全体討議の時間を設定した生徒総会やIB集会を行うことで、集団討議の型を体験から学ぶ機会を設定することができた。全校での学びを普通の授業の中にも生かしていきたい。前期は、生徒会主体の校外での挨拶運動や全校有志参加の夏休みのボランティア活動の実施など地域貢献活動を行うことができた。後期も生徒会活動のさらなる充実を図っていききたい。 【年度(→次年度)】		

評価指標	実践課題	主な取組	自己評価B	
			前期	年度
16 学校行事等 集団活動	(16)皆(生徒、保護者、教職員)の心が動く学校行事	学校行事の目的意識及び取り組ませ方の工夫と振り返りの充実	4	
	(17)共感と規律を意識させる全校集会	集団活動における「規律」と「共感的反応」の良さを、実感できる集会活動	4	
17 生徒会活動 と学校経営	(18)「一中生の強み」を進化させる活動の工夫	主体的自治的生徒会活動の仕掛けと実践	3	

16(16)

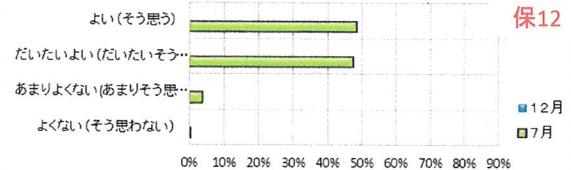
生12 あなたは、体育祭などの学校行事の意義や自分の役割を理解し、楽しく参加することができましたか。

	12月	7月
よい(そう思う)	###	76%
だいたいよい(だいたいそう思う)	###	21%
あまりよくない(あまりそう思わない)	###	2%
よくない(そう思わない)	###	0%



保12 あなたのお子さんは、体育祭等の学校行事に目標をもって前向きに取り組んでいたと思いますか。

	12月	7月
よい(そう思う)	###	48%
だいたいよい(だいたいそう思う)	###	47%
あまりよくない(あまりそう思わない)	###	4%
よくない(そう思わない)	###	0%

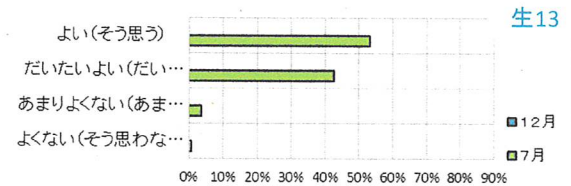


職16 皆(生徒、保護者、教職員)の心が動く学校行事 平均3.7

16(17)

生13 あなたは、全校集会や生徒総会において、相手を意識した話し方や聴き方を意識し、自分の考えを深めることができましたか。

	12月	7月
よい(そう思う)	###	53%
だいたいよい(だいたいそう思う)	###	42%
あまりよくない(あまりそう思わない)	###	4%
よくない(そう思わない)	###	1%

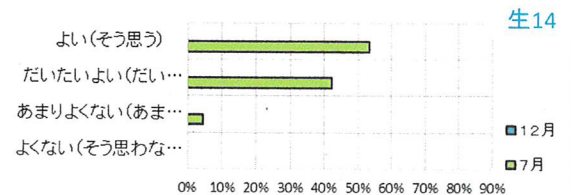


職17 共感と規律を意識させる全校集会 平均3.8

17(18)

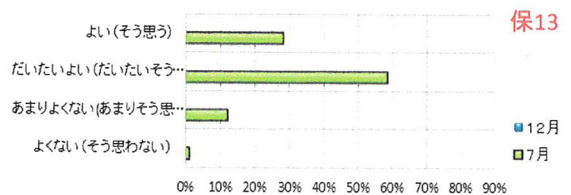
生14 あなたは、生徒会活動やボランティア、係や当番活動において、学級や学年、学校が少しでもよくなるように、自分から考えて活動することができますか。

	12月	7月
よい(そう思う)	###	53%
だいたいよい(だいたいそう思う)	###	42%
あまりよくない(あまりそう思わない)	###	4%
よくない(そう思わない)	###	0%



保13 あなたのお子さんは、生徒会活動やボランティアなどで、学校や学級がよりよくなるように自分から考えて活動していると思いますか。

	12月	7月
よい(そう思う)	###	28%
だいたいよい(だいたいそう思う)	###	58%
あまりよくない(あまりそう思わない)	###	12%
よくない(そう思わない)	###	1%



職18 生徒会活動と学校経営 平均3.5